

公益社団法人 砥粒加工学会 北陸信越地区部会 報告

北陸信越地区部会 周年行事開催（ABTEC2024 と併催）を終えて ～ アオーレ長岡（新潟県長岡市）～

1. はじめに

去る8月26日（月）～28日（水）に、ABTEC2024 と併催で北陸信越地区部会 周年行事を新潟県長岡市にあるアオーレ長岡において開催した。北陸信越地区部会は、平成23（2011）年7月22日に開催された平成23年度北陸信越地区部会大会・地区部会設立記念特別講演会から始まり、本年をもって、その活動は14年目となった。当初は、設立10周年となる令和3（2021）年に10周年行事の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症（コロナ禍）の影響に伴い延期し、今回、ABTEC2024 と併催で周年行事を実施した。その内容を報告する。

2. 北陸信越地区部会の活動紹介パネル展示

（期間：8月26日（月）～28日（水）、会場：アリーナ内）

平成23（2011）年からの北陸信越地区部会の歩みを3枚のパネルで展示（図1）するとともに、北陸信越地区部会の企業および教育研究機関のパネル展示（図2）を行った。

3. 北陸信越地区部会 周年講演会 および ABTEC2024 特別講演会

（開催日：8月27日（火）14：50～16：20）

地区部会周年講演では、北陸信越地区部会初代会長であった金沢工業大学 教授 諏訪部 仁 氏に、「北陸信越地区部会の歩み」と題し、北陸信越地区部会について、その前身の先端加工技術研究会、先端加工学会の成り立ちや経緯についてお話しいただいた（図3）。また、砥粒加工学会北陸信越地区部会が成り立つまでの様々な経緯や先人の思いについて、現在、北陸信越地区部会で行われている“先端加工フォーラム”には、前進の“先端加工”の名を後世に伝える思いが込められていることなどについて、お話しいただいた。その後、ABTEC2024 特別講演として、朝日酒造株式会社 取締役 平沢 聡 氏に、「自然に寄り添い、味をみがく酒造り」と題して、ご講演いただいた。（特別講演の詳細は、ABTEC2024 報告と重複するため省略する。）

4. 懇親会（ABTEC2024 懇親会と併催）

（開催日：8月27日（火）18：00～、会場：ホテルニューオー長岡）

懇親会では、周年お祝いおよび北陸信越地区5県からの抽選会を実施した。地区部会の鏡開きでは、初代部会長・諏訪部氏、3代目部会長・沢田氏、4代目部会長・西田氏、現部会長・畝田氏、副部会長・西野入氏、川久保氏に参加いただいた（図4）。中盤には、北陸信越5県の工芸品・名品の抽選会を実施した。新潟県幹事・熊谷氏から、三条の鍮起銅器の盃と久保田 萬寿を、長野県幹事・新井氏から、松代柴石のぐい飲みセット（片口とぐい飲み）と、松代焼の酒器セット（徳利、お猪口2個）を、富山県幹事・岩井氏から、錫製ビアカップを、石川県幹事・橋本氏からは、万年筆（ワイン、ブラック、ブラウン）を、福井県幹事・西岡氏から、サングラスを紹介いただき、抽選を行った（図5）。最後に、ホテルニューオー長岡より五十六カレーの抽選もしていただいた。中締めとして4代目部会長・西田 均氏の三三七拍子でお開きとした（図6）。

5. おわりに

直前の台風の影響の心配もあったが、多くの方にご参加いただき、大盛況となった。今後、12月6日に新潟県三条市立大学で開催予定の研究・見学会に向け、運営委員会メンバーとともに力を合わせて進めていく。
（文責：宮島敏郎）



図1 北陸信越地区部会の歩みのパネル



図2 北陸信越地区部会の企業および教育研究機関のパネル



図3 周年講演 金沢工業大学 諏訪部 仁 氏



図4 鏡開き（地区部会メンバー）



図5 各県幹事による抽選会



図6 西田 均 氏による中締め